

「保育の様子」

10月15日の被災後の保育スタートから3週間が経ちました。
初めの1週間は保育園全体が目前の対応に追われバタバタと過ぎました・・・

外遊びへ

その中でも、担任を中心に保育室の環境を少しずつ改善し、遊具を考え徐々に落ち着いていきました。その中で、外遊びの保障を全クラスで考える事が始まりました。被災していない遊び場へ、ぽかぽか広場へ行けたらいい



なと相談。ぽかぽか広場へまだ行ったことのないうさぎ組を幼児クラスが支えつつ、なるべく多くの大人が引率できるように、2週目から出かけることにしました。

室内は、ホールが使えず身体を動かしての遊びができません。この環境で子どもたちの発達保障は大丈夫なのかと心配していましたが、毎日ぽかぽか広場へ出かけてへとへとで帰ってくる子どもたち、ご飯を食べながら眠そうな顔をしている子どもたちを見て、安心しました。保育士がしっかりと子どもたちの遊びを保障しています。今は、玉堤小学校手前のヘリコプター公園へも行けるようになりました。



0歳から4歳までの異年齢保育



室内での遊びは、幼児クラスからひよこ組へ遊びに行く。りす組の子が幼児の中に入って遊んでいる、などいつでも混ざり合っている、静かなりす組が好きな子がいたり、今までは別の部屋だった兄弟が仲良く一緒に過ごしていたり、それぞれのペースで自然な関りができています。これから、この環境を良い意味で利用した、新しい保育をつくっていきます。

そう組さん！！

そんな中で残念なのは同じ園舎に、これまで年長として生活や遊びをリードくれていたそう組さんがいないという事...。ここにそう組さんがいたら、もっと小さい子の前で活躍してくれただろうなと思



います。私は出勤前に週に何度か奥沢西保育園に立ち寄るのですが、先日「ほいくえんきれいになった?」「2がつにはかえりたいな」と子どもたちから声をかけられました。離れていても、そう組さんだって尾山台保育園に帰りたい、どうなったかな?と自分たちの保育園を気にかけています。それでも奥沢西保育園での生活では、おいしい給食が食べられる、広い園庭で遊べる、避難訓練で「起震車」に乗ったり新しい友だちができたりと楽しいこともたくさんです。

今後、行事や散歩の中でそう組さんがみんなと合流できる機会が増えるように考えていきます。今でもぽかぽか広場への散歩のときには「やったー」とかば・きりん組に会えることを喜んでいきます。